

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 1 - 24)

<b>件名</b>	試薬貯槽(水酸化ナトリウム溶液貯槽、炭酸ナトリウム溶液貯槽)の計装配管における詰まり	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 非放射性試薬の貯槽</p> <p>(2) 発生の状況 非放射性試薬の貯槽の運転中</p> <p>(3) 概要 試薬の貯槽に設置されている液位計の計装配管の析出物による詰まり * 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を全く取扱わない非放射性試薬を取扱う貯槽内の事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 計装配管の詰まりによって、液位計の異常信号により当該貯槽への試薬の受入れが自動停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 計装配管の詰まりの復旧作業は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 試薬の貯槽への試薬受入れが停止されるが、試薬の貯槽の貯留液により試薬を必要とするプロセス系統へ送液が可能のため、他工程への影響は生じない。ただし、詰まり除去に時間を要する場合は、工程内に設置している一時的な貯留槽の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 計装配管の詰まりであることを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、計装配管から計装用圧縮空気を供給する。</p> <p>(3) それでも除去できない場合は、定められた保守作業手順に従って、計装配管から硝酸等の除染液を流し、詰まりを除去する。</p>	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時制限区域からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

